

花咲か爺さん FX トレード教室

トレードツール ユーザーマニュアル 第3版

第1部 裁量トレードのための Hanasaka indi と Hanasaka EA

第2部 自動売買のための Hanasaka Auto EA と Hanasaka Auto Indi

対象：MetaTrader 5 / ヘッジ口座 / XAUUSD（ゴールド）

収録版：Hanasaka indi Ver1.03 / Hanasaka EA Ver1.05 / D_Sent_Hanasaka_indi Ver1.00 /
D_Sent_Hanasaka_EA Ver1.01

Hanasaka Auto EA Ver1.01 / Hanasaka Auto Indi Ver1.01

発行：EA Designer Kuu

2026年10月10日 第3版

※ 本ツールは教室の受講者向けに無償で提供するものです。提供条件（提携口座）と口座認証については第1章をお読みください。利益を保証するものではありません。

目次

第1部 裁量トレードのための Hanasaka indi と Hanasaka EA.....	4
第1章 はじめに.....	5
1-1. このマニュアルについて.....	5
1-2. 2つのツールの役割.....	5
1-3. 提供条件と口座認証.....	5
1-4. 動作環境.....	5
1-5. どのツールを使うか.....	6
第2章 提携口座の2つの口座タイプと使い分け.....	7
2-1. 使うファイル.....	7
2-2. 口座仕様の違い.....	7
2-3. ツール上での見え方の違い.....	7
2-4. 資金とリスクの目安.....	8
第3章 導入手順（共通）.....	9
第4章 Hanasaka indi の使い方.....	10
4-1. 仕組み.....	10
4-2. チャートの記号と線.....	10
4-3. サインの表示方式と推奨本数.....	11
4-4. 主な入力（パラメーター）.....	11
第5章 Hanasaka EA パネルの見方.....	13
5-1. 各部の補足.....	13
5-2. EA がチャートに描く線.....	14
5-3. 重要指標の警告.....	14
第6章 Hanasaka EA の使い方.....	15
6-1. 基本の流れ（裁量）.....	15
6-2. 順張りとは逆張り.....	15
6-3. 裁量の決済ルール（SL／TP は残高の％）.....	15
6-4. サイン SL（入力 SignStopsOn）.....	15
6-5. 橙 SL 追従（入力 OrangeTrailOn）.....	16
6-6. Hedging（両建て）.....	16
6-7. 複数端末で同じ口座を使うとき.....	16
6-8. 半自動（Ver1.05）.....	16
第7章 統計表示（半自動実績と裁量実績）.....	19
7-1. 半自動実績ブロック（①②③）.....	19
7-2. 裁量実績ブロック（④⑤⑥）.....	19
第8章 EA の主なパラメーター.....	20
第9章 安全機能と注意事項.....	22
9-1. 安全機能.....	22
9-2. 注意事項.....	22
第10章 困ったとき.....	23
第11章 リスクについて・免責.....	24

第2部 自動売買のための Hanasaka Auto EA と Hanasaka Auto Indi.....	25
第12章 Hanasaka Auto とは.....	26
12-1. 位置づけ.....	26
12-2. 配布と現在の状態.....	26
12-3. 2つのファイル.....	26
第13章 Hanasaka Auto EA の売買ロジック.....	27
13-1. サインの計算 (M15)	27
13-2. エントリー.....	27
13-3. 決済と SL の管理.....	27
13-4. ロット.....	27
13-5. 検証結果 (根拠)	28
第14章 導入と Auto パネルの見方.....	29
14-1. 導入手順.....	29
14-2. Auto パネル.....	29
第15章 Auto EA のパラメーター.....	30
第16章 Hanasaka Auto Indi と運用上の注意.....	31
16-1. Hanasaka Auto Indi.....	31
16-2. 資金の目安.....	31
16-3. フォワードテスト (判定前)	31
16-4. 注意事項.....	31
16-5. 困ったとき.....	32
第17章 リスクについて・免責 (第2部)	33

第 1 部 裁量トレードのための Hanasaka indi と Hanasaka EA

第1章 はじめに

1-1. このマニュアルについて

花咲か爺さん FX トレード教室で配布するトレードツールの使い方を、1冊にまとめたものです。第1部は裁量トレード用の「Hanasaka indi」と「Hanasaka EA」、第2部は自動売買用の「Hanasaka Auto EA」と「Hanasaka Auto Indi」です。第1版から、Hanasaka EA が Ver1.05（半自動ボタン、SL/TP の残高%化）、Hanasaka indi が Ver1.03（押し目タッチ方式）に変わり、第2部を新設しました。第3版では、7年9か月を通した検証の数字に更新し、半自動と Auto の違い（6-8）と資金別の実際のリスク（6-8、2-4）を追加しました。提携口座の2つの口座タイプ（Exness Standard 口座、DecodeFX セント口座）で共通に使えるように、口座タイプごとの違いは第2章にまとめました。

教室の合言葉は「敵は汝の怠け心にあり!」。ツールはサインと管理を手伝いますが、エントリーの判断と結果はあなた自身のものです。ツールに任せきりにせず、手法とあわせて学んでください。

1-2. 2つのツールの役割

ツール	何をするもの	向いている使い方
Hanasaka indi	トレンドの反転をチャートに矢印と◆で表示する、完全裁量用のインジケーター。損切りの目安線（橙点線）、TP1/TP2 の目安線も描く	チャートを見ながら自分でエントリー・決済する人。MT5 の通常の注文で売買する
Hanasaka EA	チャートに取引パネルを出し、ボタンで売買する半裁量 EA。SL/TP は残高の%で自動配置され、線をドラッグで動かせる。Ver1.05 から「半自動」ボタンがあり、押したときだけ次のサインで1本建てる（第6章 6-8）。M15 のトレンド方向、半自動実績、裁量実績を表示する	ロット計算・SL/TP の管理・一括決済をパネルで済ませたい人。インジと同じチャートに載せて併用する

※ EA はインジケーターを参照しません。EA だけでも動きますが、チャートの記号（矢印・◆・橙点線）はインジが描くので、2つを同じチャートに載せて使うことを推奨します。

1-3. 提供条件と口座認証

- 手法と基本ツールは無償で提供します。本マニュアルの2つのツールは「提携口座の方へ」の特典として配布します。
- どちらのツールにも口座番号による認証があります。登録された口座番号の MT5 でだけ動作します。
- インジ：登録されていない口座では、チャート左上に「この口座番号は認証されていません」と表示され、何も描画しません。
- EA：登録されていない口座では、起動時に「口座認証エラー」をログに出して停止します。
- 口座番号を登録するには、公式 LINE から口座番号（ログイン ID）をお知らせください。登録後、更新版のファイルをお渡しします。デモ口座でも登録できます。

※ 認証に使うのは口座番号だけです。パスワードや投資者パスワードは絶対に送らないでください。

1-4. 動作環境

項目	内容
プラットフォーム	MetaTrader 5（MT4 では動きません）
口座の種類	ヘッジ口座（両建て可）。ネットティング口座では EA は起動時に停止します
銘柄	XAUUSD（ゴールド）向けに設計・検証しています。EA は他銘柄でも起動しますが、既定値はゴールド基準のため推奨しません。インジは他銘柄では注意をログに出します

項目	内容
時間足	自由。インジの推奨本数（第4章）とパネルの仮想成績（M15×H1）は時間足ごとに意味が変わります
端末	Windows の MT5。VPS でも可。複数端末で同じ口座を使う場合は第6章 6-7 を参照

1-5. どのツールを使うか

使い方	使うツール	どこを読むか
チャートを見て自分でエントリー・決済する	Hanasaka indi（+Hanasaka EA のパネル）	第1部 第4章～第6章
自分でタイミングを決め、サインの実行だけを EA に任せたい（1本ずつ・負けたら止まる）	Hanasaka EA Ver1.05 の「半自動」	第1部 第6章 6-8
完全に放置で自動売買したい	Hanasaka Auto EA（+Hanasaka Auto Indi）	第2部

※ どの EA もインジケーターを参照しません（EA の中に同じ計算を持っています）。インジは「人がチャートで見るため」のもので、インジが無くても EA は動きます。

第2章 提携口座の2つの口座タイプと使い分け

提携口座には、Exness の Standard 口座と、DecodeFX (MT5) のセント口座の2種類があります。ゴールドの「1ロット」の意味と口座通貨が違うため、ツールのファイルも口座タイプごとに分けています。必ず自分の口座タイプに合ったファイルを使ってください。

2-1. 使うファイル

	Exness Standard 口座	DecodeFX セント口座
インジケーター	Ver1.03 Hanasaka indi.ex5	Ver1.00 D_Sent_Hanasaka_indi.ex5
半裁量 EA	Ver1.05 Hanasaka EA.ex5	Ver1.01 D_Sent_Hanasaka_EA.ex5
売買・サインのロジック	共通 (同じ)	共通 (同じ)
違うところ	—	お金の計算と表示 (円換算・ロット換算) と、矢印の表示位置の換算だけ。※ D_Sent 版はまだ Ver1.03/1.05 の変更 (半自動・残高%) が入っていません。反映後に差し替えます

※ 「D_Sent\」 が付くファイルはセント口座専用です。Exness の口座で D_Sent 版を使っても動きますが、本来の版を使ってください。逆に、セント口座で通常版を使うと、ロットと損益表示が実態と合いません。

2-2. 口座仕様の違い

項目	Exness Standard 口座	DecodeFX セント口座
銘柄名	XAUUSD	XAUUSD.ct
価格の小数桁	3 桁 (例 4341.905)	2 桁 (例 4341.90)
1 ロットの契約サイズ	100 oz	1 oz
最小ロット／刻み	0.01 ロット (=1 oz)	0.01 ロット (=0.01 oz)
口座通貨	USD など (口座開設時に選択)	JPC (日本円セント。1円=100 JPC)
口座に表示される残高	そのままの金額	円の 100 倍の数字 (例: 1万円入金 → 1,000,000 JPC)
スプレッド (2026 年 10 月の実測・参考)	Pro 口座の約 2 倍を目安に設計	平均 \$0.17~0.18。日本時間の 5~6 時台は広がる (最大 \$0.32 程度)
少額から始めやすさ	0.01 ロット=1 oz が最小。1万円では値動き 1ドルで約 150 円動く	0.01 ロット=0.01 oz が最小。1万円からでもロットを細かく調整できる

2-3. ツール上での見え方の違い

項目	Exness Standard (通常版)	DecodeFX セント (D_Sent 版)
パネルの損益表示	JPY 換算 (口座通貨から換算)	円で表示 (JPC を自動で 1/100 に換算)
自動ロット (Risk%)	残高 × Risk% から計算 (基準: 残高 10 万円で Risk1% = 0.01 ロット。Ver1.04 から既定 10%=0.1 ロット)	残高を円に換算してから同じ式で計算し、契約サイズの違い (×100) を補正。Exness と同じ oz 数になる
パネルの「lot」の読み方	Exness のロット (0.01 = 1 oz)	DecodeFX のロット (1.00 = 1 oz)。同じリスクなら Exness の 100 倍の数字になる
固定ロット	その口座のロット	その口座のロット (0.01 = 0.01 oz)

項目	Exness Standard (通常版)	DecodeFX セント (D_Sent 版)
(ManualLot)		
最大ロット (MaxLot=5.0)	5 ロット=500 oz	100 oz 基準で自動換算 (500 oz = 500 ロット)
SL/TP 幅	残高の 10% を値幅に換算 (Ver1.04~)	D_Sent 版は従来の 1000 pips=\$10.00 (反映後に同じ方式へ)
矢印の表示位置	サイン足から \$0.30 離す	同じ \$0.30 (2 桁銘柄向けに換算済み)
起動ログ	銘柄・桁数・ティック値	上記に加えて、口座通貨・換算率・契約サイズ・最小ロット・既定 Risk% のロットを表示

2-4. 資金とリスクの目安

パネルの仮想成績と同じ条件 (M15 のサインを H1 の向きで絞る方式) を 2019~2026 年 9 月のデータで試算した結果をもとにした目安です。将来の成績を約束するものではありません。

口座タイプ	初期資金の例	Risk 0.5%	Risk 1.0%
DecodeFX セント	1万円	0.05 ロット (0.05 oz)。過去の最大ドローダウンは約 17%	0.1 ロット (0.1 oz)。過去の最大ドローダウンは約 35%
Exness Standard	10 万円	最小 0.01 ロット (1 oz) で約 0.5% 相当。過去の最大ドローダウンは約 4 万円	0.01 ロット。残高が増えるまでロットは変わらない

- 推奨は Risk 0.5% から。慣れてから上げてください。
- 計算したロットが最小ロットを下回ると、最小ロットに切り上がります (実際のリスクが設定より大きくなります)。起動ログで確認できます。
- 半自動 (6-8) のロットも同じ切り上げが起きます。10 万円で半自動リスク 1% にしても、実際は 1.5~3.8% になります (6-8 の資金別の表)。
- 日本時間の 5~7 時はスプレッドが広がる時間帯です。裁量の目安として、この時間帯の新規エントリーは控えめにすると安心です (EA は止めません)。

第3章 導入手順（共通）

1. MT5 の「ファイル」→「データフォルダを開く」→「MQL5」を開きます。
2. 「Indicators」フォルダーにインジの .ex5 を、「Experts」フォルダーに EA の .ex5 を入れます（第2章 2-1 の、自分の口座タイプのファイル）。
3. MT5 を再起動するか、ナビゲーターで右クリック→「更新」を選びます。
4. XAUUSD（DecodeFX は XAUUSD.ct）のチャートを開き、ナビゲーターからインジをドラッグ＆ドロップします。
5. 続けて同じチャートに EA をドラッグ＆ドロップします。「アルゴリズム取引を許可」にチェックを入れて OK を押します。
6. ツールバーの「アルゴリズム取引」を ON にします。パネルが出て、左上の指標バーに版番が表示されれば起動しています。
7. エキスパートタブのログを確認します。「口座認証エラー」「ヘッジ口座専用です」が出ていれば第10章を参照してください。

※ チャートの時間足は自由です。半自動と M15 の線はチャートの時間足に関係なく M15/H1 で計算します。おすすめは M15 か M5。インジの推奨本数は第4章を参照してください。

第4章 Hanasaka indi の使い方

4-1. 仕組み

- ラチェット型のトレンドライン：直近 N 本（既定 5 本）の安値（上昇中）または高値（下降中）を、片方向にだけ更新して描きます。
- 反転の判定：終値がトレンドラインを越え、かつ直近 20 本の終値の極値を越えたとき、トレンドが反転したと判定します（ドンチャンブレイクアウト）。
- サイン：反転した足に矢印と◆（エントリー価格＝サイン足の終値）を出します。確定足だけに出るので、後から消えたり動いたりしません（リペイントなし）。
- 目安線：損切り目安（橙点線＝反転トリガー水準）、TP1（ATR×1.0、銀点線）、TP2（ATR×2.6、白点線）、エントリー水準（金色点線）を描きます。

4-2. チャートの記号と線

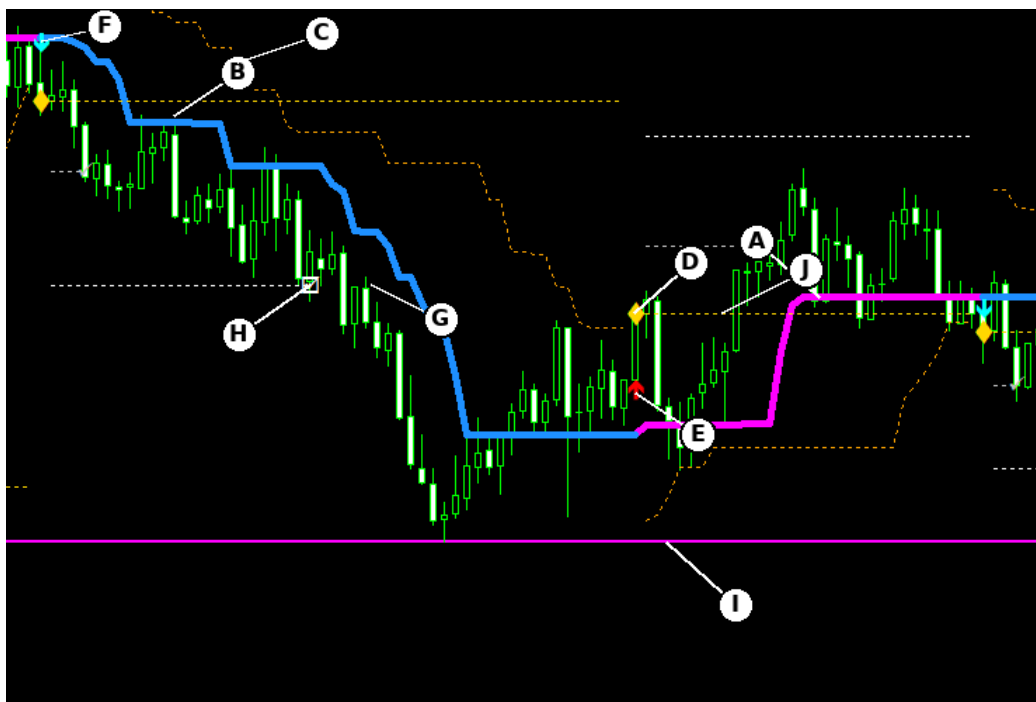


図1 M1 チャートの例（インジの記号 A～H・J と、EA が描く水平線 I）

記号	描く側	見え方	意味
A	インジ	マゼンタの太線	上昇トレンドのラチェットライン。終値がこれを割り、直近 20 本の終値の安値も下回ると反転
B	インジ	ブルーの太線	下降トレンドのラチェットライン。上昇の逆
C	インジ	橙の点線	反転トリガー水準＝損切りの目安。次の足の終値がこの線を越えるとトレンドが反転する
D	インジ	金色の◆	エントリー価格（サイン足の終値）。見やすいよう既定で 2 本左にずらして描く
E	インジ	赤の上向き矢印（足の下）	買いサイン。上昇トレンドへの反転が確定した足
F	インジ	水色の下向き矢印（足の上）	売りサイン。下降トレンドへの反転が確定した足
G	インジ	銀（TP1）／白（TP2）の点線	TP1＝◆から ATR×1.0、TP2＝◆から ATR×2.6。到達するか次のサインまで表示

記号	描く側	見え方	意味
H	インジ	✓ (銀) / ☒ (白)	TP1/TP2 に到達した足の目印
I	EA	マゼンタ/ブルーの実線 (太さ 2)	M15 の太線 (トレンドライン) を水平線で表示。チャートの時間足に関係なく常に M15
J	インジ	金色の点線	エントリー水準線 (◆の価格)

※ インジの橙点線 (C) は「チャートの時間足」の反転水準、EA の黄色線は「M15」の反転水準です。M15 以外のチャートでは一致しません。

4-3. サインの表示方式と推奨本数

入力「サイン表示方式」で、どのサインを表示するかを選べます。

方式	表示するサイン	向き
基準方向と同じ向きだけ表示 (既定)	直近で「基準トレンドの本数」以上続いたトレンドの方向 (基準方向) と同じ向きのサインだけ	裁量用。だましを減らして、流れに沿ったサインだけ見る
直前トレンドが短いときだけ表示	直前のトレンドが「基準トレンドの本数」未満で終わったときの反転サインだけ	自動売買と同じ判定。EA パネルの仮想成績 (M15×H1、本数 25) と同じサインを見たいときは、M15 チャートでこの方式・25 本にする
全表示	すべての反転サイン	検証・学習用

「基準トレンドの本数」 (既定 25) の推奨値:

M1	M5	M6	M10	M15	M30	H1
120 (目安)	50	25	40	20	20	120

※ M1 は、どの本数でも単体での期待値がプラスになりませんでした。M1 は「上位足の方向を確かめる」用途で使い、エントリーの判断は M5 以上の足で行ってください。

4-4. 主な入力 (パラメーター)

名称	既定	説明
サイン表示方式	基準方向のみ	4-3 を参照
基準トレンドの本数 (MinTrendBars)	25	基準方向の判定に使う本数。時間足ごとの推奨値は 4-3
押し目タッチの本数 (PullbackBars)	20	押し目タッチ方式で、反転後に線に触れずに進む本数。PullbackStrict=true にすると本数以内に触れたトレンドはサインなし
ラチェット極値の窓 (LineWindow)	5	トレンドラインの更新に使う本数
ブレイクアウト判定の窓 (BreakoutWindow)	20	反転判定に使う本数
ATR 期間/TP1/TP2	14/1.0/2.6	TP の目安線 (ATR の倍率)
TP 到達マーク/TP 水準線	ON/ON	☒ と TP の点線
反転トリガー水準を表示 (ShowSIlevel)	ON	橙点線 (損切り目安)

名称	既定	説明
◆を表示／左にずらす本数	ON／2	エントリー価格の◆
サインのオフセット (ArrowOffsetPoints)	300	矢印を足から離す距離 (\$0.30) 。D_Sent 版は 2 桁銘柄でも同じ \$0.30 になるよう換算
確定足のみ (ClosedBarOnly)	ON	OFF にすると形成中の足にも仮のサインが出ます (推奨しません)
ポップアップ／プッシュ通知	OFF／OFF	新しいサインで通知。プッシュは MT5 のスマホ通知の設定が必要
BB サイン (PWBB_Signs_ON)	OFF	ボリンジャーバンドを使った補助サイン系統。教室の手法では使いません。OFF のまま

第5章 Hanasaka EA パネルの見方

パネルの各部を番号で示します。図2はVer1.05の画面（M1チャート・建玉なし・半自動OFF）です。右の一覧が各部の役割、5-1の表がその補足です。第1版（Ver1.03）にあった「BUY側自動／SELL側自動／裁量／管理／SL追従／SL→今すぐ」と「H1×M15 仮想成績」はVer1.05で無くなり、⑮～⑳の半自動の行に置き換わりました。

次★★★ 10/13 23:00 v1.05 ▲ 11:39:21 AM UI 1.0 + M15 ▲ UP M1 ▲ UP ADX H4 23 TREND M15反転 \$43.22 6.0A M15太線 \$20.93 2.9A Risk 1.0% · 0.01 lot + BUY 順張り SELL 逆張り ▲ 期待値 - ×3.0 ×5.0 ×10.0 Buy 0.00 0 Buy Close Sell 0.00 0 Sell Close 半自動 開始 OFF ライン引き直し 半自動リスク 1.0% · 損失=残高1.0% + 半自動実績 0回・履歴 本日 0回 今週 0回 今月 0回 裁量実績 124回・履歴 勝率48% PF1.17 +14,136 本日 3回 100% PF99.00 +2,337 今週 124回 48% PF1.17 +14,136 今月 124回 48% PF1.17 +14,136 Hedging P/L 0 JPY ALL CLOSE	① 指標バー 重要指標（★★★）の予告・警告。右端に版番。タップで折りたたみ ② 時計 ローカル時刻。タップでUI倍率を初期値に ③ UI -/+ パネルの大きさ ④ M15 ▲UP／▼DOWN M15の方向。順張り／逆張りの基準 ⑤ M1 ▲UP／▼DOWN M1の方向 ⑥ ADX H4 20以上でTREND（緑）、未满是RANGE ⑦ M15 反転 現在値からM15反転水準（黄色線）までの距離 ⑧ M15 太線 現在値からM15トレンドラインまでの距離 ⑨ Risk -/+ 裁量のロット（Risk%または固定ロット）。中央に計算後のロット ⑩ BUY 買い。順張り＝マゼンタ、逆張り＝琥珀 ⑪ SELL 売り。順張り＝ティール、逆張り＝琥珀 ⑫ ×3／×5／×10 次のエントリーのロット倍率 ⑬ Buy行 買いの合計ロット・順／逆・平均建値・含み損益・Buy Close ⑭ Sell行 売りの同上 ⑮ 半自動 開始／停止／再開 半自動のボタン（6-8） ⑯ 状態 OFF／待機中（サイン待ち）／保有中／停止（1敗）。2行目に最後の損益と時刻 ⑰ ライン引き直し 現在価格を基準にSL／TP線を出し直す ⑱ 半自動リスク -/+ 半自動の1トレードの損失＝残高の%（既定1.0%） ⑲ 半自動実績 ○回 半自動で決済した直近200回の勝率・PF・損益 ⑳ 本日／今週／今月 半自動実績の日本時間区分 ㉑ 裁量実績 ○回 ボタンで建てて決済した直近200回 ㉒ 本日／今週／今月 裁量実績の日本時間区分 ㉓ Hedging 両建てで中立化。建玉なしなら両建てスタート ㉔ P/L このEAの裁量建玉の合計含み損益（円） ㉕ ALL CLOSE このEAの建玉（裁量・半自動とも）を全決済
--	---

図2 パネル（Ver1.05・M1チャート・建玉なし）

5-1. 各部の補足

番号	表示	補足
①	指標バー	平常時は「次★★★ 10/13 23:00」（7日以内で最も近い高重要度イベント）、発表30分前～5分後は琥珀色の警告文。「取得不可」ならMT5のニュース設定を確認（5-3）
②	時計	入力 ClockUseLocal=false でサーバー時刻に。統計の「本日」は時計の設定に関係なく日本時間0時起点
④⑤	M15／M1	確定足から計算するので、方向が変わるのは足の確定時。半自動のサインはM15の方向が変わった足で出る
⑥	ADX H4	H4のADX(14)。RANGEのときはサインの成績が落ちる。入力 AdxTrendMin で閾値を変更可。半自動はADXを見ない
⑦⑧	M15 反転／M15 太線	「\$」はドル、「A」はATR(M15)倍。⑦は半自動の初期SLまでの距離の目安

番号	表示	補足
⑨	Risk	裁量のロット。自動計算では Risk%、固定ロットではロット値を増減。中央タップで初期値（Ver1.04 から 10%）に戻る。半自動のロットはここではなく ⑮ で決まる
⑩⑪	BUY／SELL	M15 と同方向なら「順張り」、逆なら「逆張り △ 期待値-」と表示。半自動が待機中・保有中は押しても建たない（ログに理由）
⑫	倍率	押すと点灯、もう一度押すと解除。次の 1 回の裁量エントリーにだけ効く
⑬⑭	Buy 行／Sell 行	下段の「@価格」は平均建値。「順／逆」は保有中に M15 が反転すると変わる。右のボタンでそのサイドだけ決済（裁量建玉のみ）
⑮⑯	半自動／状態	6-8 を参照。状態セルをタップするとログに現在の状態と最後の結果を出す
⑰	ライン引き直し	線を消してしまったとき、手で動かした後に自動の引き直しを再開したいときに使う。建玉がないときは何もしない
⑱	半自動リスク	0.1~10%、0.5 刻み。中央タップで入力の設定値に戻る。損失額＝残高×この%になるよう、SL 幅からロットを逆算する（裁量の Risk% とは意味が違う）
⑲⑳	半自動実績	Magic 20261006（裁量+1）で決済した取引を口座履歴（90 日以内）から集計。スワップ・手数料込み。ALL CLOSE やロスカットで閉じた半自動の建玉も含む
㉑㉒	裁量実績	Magic 20261005 で決済した取引の集計。ヘッジ玉も含む
㉓	Hedging	押すと赤になり、均衡を確認すると元の色に戻る（確認できなければ 10 秒で戻る）。半自動が待機中・保有中は使えない
㉔㉕	P/L／ALL CLOSE	P/L は裁量建玉の合計。ALL CLOSE は裁量と半自動の両方を閉じ、半自動を OFF にする。手動や他 EA の建玉は含まれず、決済もされない

5-2. EA がチャートに描く線

線	見え方	意味
M15 反転水準	黄色の実線（太さ 2）	M15 の反転トリガー水準。半自動の SL がここへ追随（6-8）
M15 太線	マゼンタ／ブルーの実線	M15 のトレンドライン（図 1 の I）
線の注記	線の上の小さな文字	線の意味と水準。M15 足の確定ごとに更新。ShowM15LineNotes=false で非表示
SL 線（裁量モード）	赤の点線（ドラッグ可）	建玉全体の SL。動かすとブローカー側の SL も書き換わる
TP 線（裁量モード）	青の点線（ドラッグ可）	建玉全体の TP。同上
平均建値（裁量モード）	緑の点線	ネット方向の平均建値。追加建てで自動追従（ドラッグ不可）

5-3. 重要指標の警告

MT5 内蔵の経済カレンダーから、対象通貨（既定 USD）の重要度★★★のイベントを拾い、指標バー①に表示します。発表の 30 分前から 5 分後までは琥珀色の警告になります。警告はエントリーや決済を止めません。表示のみです。

※ MT5 の「ツール→オプション→サーバー」で「ニュースを有効にする」が ON のときだけ動きます。「★★★取得不可」が出たらこの設定と接続を確認してください。

第6章 Hanasaka EA の使い方

6-1. 基本の流れ（裁量）

- ④ M15 の方向と ⑥ ADX（TREND か RANGE か）で相場の状態を見ます。
- チャートのインジのサイン（矢印・◆）と、橙点線（損切り目安）の位置を確認します。
- ⑨ でロット（Risk%）を決めます。必要なら ⑫ の倍率を押します。
- BUY または SELL を押します。ボタンの色で順張りか逆張りか分かります。
- 残高の 10% に当たる値幅で SL/TP が置かれ、赤・青の線が出ます（6-3）。線をドラッグして、橙点線や自分の判断の位置に合わせます。
- 保有中は ⑬⑭ で含み損益と順／逆を確認します。線に価格が届くと全決済されます。
- 手動で決済するときは Buy Close/Sell Close/ALL CLOSE、中立化したいときは Hedging を使います。

6-2. 順張りとは逆張り

M15 の方向（④）と同じ方向のエントリーが順張り、逆の方向が逆張りです。逆張りも禁止はしていませんが、3年間の検証では逆張りの期待値はマイナスでした。ボタンの琥珀色はその注意喚起です。保有中に M15 が反転すると、順張りだった建玉は逆張りになります（⑬⑭ の「順／逆」で確認）。

6-3. 裁量の決済ルール（SL/TP は残高の%）

- 最初の建玉の SL/TP は、「残高 × StopLossPercent（既定 10%）」「残高 × TakeProfitPercent（既定 10%）」の金額を、その建玉のロットで失う（得る）値幅に換算して置きます。口座通貨やドル円のレートはブローカーのティック値に含まれるので、設定は%だけです。
- 例：残高 10 万円・Risk10%（0.1 ロット）なら SL 幅は約 \$6.67（約 667 pips）。Risk1%（0.01 ロット）のまま SL10% にすると幅は約 \$66.7 になります。**Risk%（ロット）と SL%（損失額）は別の設定**なので、両方を見て決めてください。
- 建玉を増減すると、差引きのロットと平均建値（両建て分は相殺）から同じ%の幅で線を引き直し、ブローカーの SL/TP も同期します。損失額が「残高の%」のまま変わらないようにするためです。
- 赤・青の線を手でドラッグすると、以後は自動で引き直しません（手で置いた位置が優先）。再び自動に戻すときは ⑰ 「ライン引き直し」を押します。
- 引き直した線が現在価格を越えてしまう場合（建玉を積んだ時点で含み損が大きいとき）は線を動かさず、ログで知らせます。
- 決済は赤線（SL）・青線（TP）に価格が届いたときだけです。M15 の反転や保険 SL は裁量建玉には働きません。
- 価格が線に届いた状態が 2 秒続くと、この EA の裁量建玉を成行で決済します。ブローカー側の SL/TP と二重の構えです。
- 線は裁量建玉全体で 1 組です。買いと売りを同時に持つと、差し引きの方向で 1 組だけ引かれます。完全に中立のときは線がなく、ライン到達決済もしません。
- 従来の pips 固定に戻したいときは、入力 FreeStopMode を FREE_STOP_PIPS にします（StopLossPips/TakeProfitPips、既定 1000 pips=\$10）。

6-4. サイン SL（入力 SignStopsOn）

第1版の ⑮ ボタンは Ver1.05 で無くなり、入力 SignStopsOn（既定 OFF）で切り替えます。ON にすると、線が無い状態での最初のエントリーで、チャート時間足のサインから SL/TP を自動で決めます。

状況	SL	TP
サイン確定から1分以内	橙点線（反転水準）	TP2（◆から ATR×2.6）
サイン無し・途中エントリー	橙点線（反転水準）	建値から SL 距離と同じ（RR 1:1）
チャート方向と逆／橙点線なし／橙点線まで \$1.5 未満	建値から 1000 pips	建値から 1000 pips

6-5. 橙 SL 追隨（入力 OrangeTrailOn）

第1版の⑩ ボタンは Ver1.05 で無くなり、入力 OrangeTrailOn（既定 OFF）で切り替えます。ON にすると、チャート時間足の確定ごとに橙点線（反転水準）を見て、赤線より有利な位置にあれば赤線とブローカー SL をそこへ移動します。不利な方向には動かしません。青線（TP）は触りません。赤線を手でドラッグすると追隨は自動で OFF になります（再開は EA を載せ直す）。

※ 追隨の時間足はチャートの時間足です。半自動は常に M15 の橙点線で追隨します（6-8）。

6-6. Hedging（両建て）

- 建玉があるとき：買い合計と売り合計の差分ロットを反対方向に建てて中立化します。裁量モードでは線を消し、全建玉のブローカー SL/TP を外します。片側を決済して方向が出たら、その時点の価格を基準に線を引き直します。
- 建玉がないとき（両建てスタート）：Risk 行の表示ロット（倍率込み）で買いと売りを同時に建てます。SL/TP は付きません。残高比ロスカットは働きます。
- 押すと赤に変わり、均衡を確認すると元の色に戻ります。1本目が約定して2本目が失敗したときは、片建てのまま残してログで知らせます（勝手に閉じません）。
- 半自動が待機中・保有中は Hedging も受け付けません。

6-7. 複数端末で同じ口座を使うとき

裁量では制約はありません。線を動かした端末が先にブローカー SL/TP を書き換え、他の端末はそれを読んで線を追従させます。半自動は「押した端末」だけが待機・発注・管理をします。同じ口座の別の端末で半自動を同時に押さないでください（Magic が同じため二重に建ちます）。

6-8. 半自動（Ver1.05）

半自動は「次の H1×M15 サインで1本だけ建て、橙点線に追隨して伸ばし、M15 の反転で決済する」機能です。エントリーのタイミング（いつ押すか）は裁量、サインの実行と管理は EA が行います。負けたら自動で停止するので、損失は「残高×半自動リスク%」を超えません。

使い方

- ⑩ で半自動リスク%を決めます（既定 1.0%。推奨 1～2%）。
- 裁量の建玉を閉じてから、⑮「半自動 開始」を押します。⑩ が「待機中(サイン待ち)」になります。
- 次の M15 の確定で条件を満たすサインが出ると、自動で1本建てます（Alert とログ）。⑩ が「保有中」になり、2行目に方向・ロット・含み損益が出ます。
- 以後、M15 の確定ごとに SL を橙点線へ追隨します。M15 が反転すると成行で決済し、勝ちで終わったときは反転方向で建て直します。
- 負けで終わると⑩ が「停止(1敗）」（赤）になり、2行目に損益と時刻が残ります。再び押すまで建てません。
- 途中でやめるときは⑮を押して OFF にします。保有中の建玉は決済まで管理を続け、以後は建てません。すぐ閉じたいときは ALL CLOSE。

条件（Hanasaka Auto EA Ver1.01 と同じ）

項目	内容
サイン	M15 の反転（終値が反転水準を越えた足）。チャートの時間足に関係なく内部で M15 を計算
見送り	直前の M15 トレンドが 25 本以上続いた後の反転は見送る（入力 SemiSkipBars）
上位足	確定済みの最新 H1 のトレンドと同じ向きだけ（入力 SemiH1Filter）
スプレッド	\$0.40 を超えていたら建てない（入力 SemiMaxSpreadUsd）
建玉	単ポジション。Magic 20261006、注文コメント「Hanasaka semi」
ロット	残高×半自動リスク% ÷ SL 幅。最小ロットで足りないときは最小ロットにし、実際の%をログに出す
初期 SL	橙点線（M15 反転水準）。近すぎて置けないときは建値±ATR(M15)×3
管理	M15 確定ごとに SL を橙点線へ追従（有利方向のみ）。TP は置かない
決済	SL 到達、または M15 の反転で成行。反転で決済したあと、待機中なら反転方向で建て直す
停止	負けで決済されたら「停止(1敗)」（入力 SemiStopAfterLoss）。勝ちなら待機に戻る

Hanasaka Auto EA（第2部）との違い

売買の条件（サイン・見送り・H1・スプレッド・損切り・決済・建て直し）は Hanasaka Auto EA Ver1.01 と同一です。違うのは次の3点だけです。

項目	半自動（本 EA）	Hanasaka Auto EA
開始	人がボタンを押した次のサインから	起動した瞬間から、すべてのサインで
負けたあと	1敗で停止。再開は人がもう一度押す	止まらず次のサインを建てる
ロット	損失＝残高×半自動リスク% から逆算（SL 幅で毎回変わる）	複利（残高 30 万円で 0.01）または固定。損失額は SL 幅で変わる

同じ期間の試算では、Auto が 1,785 回 +\\$2,756、半自動（1敗停止・次のサインで再開と仮定）が 1,080 回 +\\$1,630 で、差は「停止している間のサインを逃す分」です。完全に放置したい方は第2部の Auto を、入るタイミングを自分で決めたい方は半自動をお使いください。

資金別のリスク（半自動リスク 1% のとき）

半自動のロットは「残高×1% ÷ SL 幅」で計算しますが、**最小ロット 0.01（1oz）を下回るときは 0.01 に切り上がります**。初期 SL 幅は平均で約 \\$10/oz、広いときは \\$25 を超えるため、残高が小さいほど実際のリスクが設定より大きくなります（1ドル 150 円）。

残高	1%の金額	SL \$10 のとき	SL \$25 のとき	実際のリスク
10 万円	1,000 円	0.01（切り上げ）→ 損失 1,500 円	0.01（切り上げ）→ 3,750 円	1.5～3.8%
30 万円	3,000 円	0.02 → 3,000 円	0.01（切り上げ）→ 3,750 円	1.0～1.3%
60 万円	6,000 円	0.04 → 6,000 円	0.01 → 3,750 円	0.6～1.0%
100 万円	10,000 円	0.06 → 9,000 円	0.02 → 7,500 円	0.75～0.9%

- 10 万円では、設定を 1% にしても実際は 1.5～3.8% です。7 年 9 か月の試算の最大ドローダウンは、1%で約 35%、2%で約 60%なので、10 万円なら 4～6 万円の落ち込みを想定してください。切り上げが起きたときは、ログに実際の%が出ます。
- 半自動を 1% の設定どおりに動かすには、残高 30 万円以上が目安です。10 万円以下の方は、リスク設定を 0.5% にしても最小ロットで同じ損失額になるため、「1トレードの損失は 1,500～3,750 円」

と金額で把握してください。DecodeFX セント口座（1 oz の 1/100 単位）なら小さい残高でも設定どおりになりますが、セント版 EA への半自動の反映は未了です（2-1）。

- 2% を超える設定は推奨しません。

半自動と裁量の関係

- 半自動が待機中・保有中は、BUY／SELL／Hedging を受け付けません（損失が計算外に増えないため）。
- 裁量の建玉がある間は、半自動を開始できません。先に決済してください。
- ALL CLOSE は半自動の建玉も閉じ、半自動を OFF にします。残高比ロスカットは半自動の建玉も含めて判定します。
- 半自動の建玉は裁量の SL／TP 線・Hedging・Buy Close／Sell Close の対象外です。SL はブローカー側に置かれ、チャートには MT5 標準の表示（ShowMt5TradeLevels=true のとき）で見えます。

根拠と注意

- 同じ条件（M15 反転×H1 一致×橙点線追随）を 2019～2026 年 9 月の 7 年で試算すると、1,785 回・PF1.40・勝率 34%・総損益 +\ \$2,756/oz（2023 年 12 月以降は Exness Standard の実測スプレッド、それ以前は平均で代用）。半自動（1 敗で解除し、次のサインで再開）は 1,080 回・PF1.39・+\ \$1,630 でした。
- 勝率は 35% 前後です。利益は勝ちトレードの大きさ（平均の勝ち負けの約 2.8 倍）から出ます。固定幅の利確や細かいトレイリングに変えると利益が消えることを 7 年の検証で確認しているため、半自動の決済は変えられません。
- これは 7 年すべてのデータで条件を選んだ数字です。独立した確認はフォワードテスト（Hanasaka Auto EA、判定 2027 年 4 月）の途中です。
- 半自動リスク 1% で 7 年 9 か月の最大ドローダウンは約 35%、2% で約 60%（複利）でした。2% を超える設定は推奨しません。

第7章 統計表示（半自動実績と裁量実績）

7-1. 半自動実績ブロック（⑱⑳）

半自動（Magic 20261006）で決済した取引を口座履歴から集計します。スワップ・手数料込み、単位は円。見出し行は直近 200 回（90 日以内）、3 セルは日本時間の本日／今週（月曜 0 時起点）／今月です。ALL CLOSE やロスカットで閉じた半自動の建玉も含みます。

※ 第1版の「H1×M15 仮想成績」（機械的に売買した場合の仮定の数字）は Ver1.05 で無くなりました。代わりに、半自動で実際に建てた取引の成績がここに出ます。

7-2. 裁量実績ブロック（㉑㉒）

ボタンで建てて決済した取引（Magic 20261005）を同じ形式で集計します。ヘッジ玉も含みます。

※ 半自動実績と裁量実績を並べる意図は、「サインどおりに機械的にやった場合に対して、自分の裁量が上か下か」を常に見えるようにすることです。怠け心が出ていないか、ここで自分を点検してください。

第8章 EAの主なパラメーター

ふだん変える必要があるのは「ロット」と「半自動」の項目だけです。それ以外は既定のままをおすすめします。

区分	名称	既定	説明
識別	SystemNote	版番	変更不要
識別	MagicNumber	20261005	変更しないでください。半自動は自動的に+1 (20261006) を使う
ロット	LotMode	自動計算	残高 × Risk% か、固定ロット
ロット	RiskDefault/RiskStep/RiskMin/RiskMax	10.0/0.1/0.1/20.0	裁量 Risk% の初期値と刻み (Ver1.04 から既定 10)
ロット	LotBaseBalance/LotPerRiskPercent	100000/0.01	基準残高 (円) で Risk1% あたりのロット
ロット	ManualLot/ManualLotStep	0.01/0.01	固定ロット
ロット	MaxLot	5.0	上限 (半自動にも適用)
ロット	LotMult1~3	3/5/10	倍率ボタン
裁量	FreeStopMode	残高の%	初期 SL/TP 幅の決め方 (FREE_STOP_PERCENT/FREE_STOP_PIPS)
裁量	StopLossPercent/TakeProfitPercent	10/10	SL/TP 幅=残高のこの% (0=なし)
裁量	StopLossPips/TakeProfitPips	1000/1000	FREE_STOP_PIPS のときの幅 (1000 pips=\$10)
裁量	LineArmConfirmSec	2	ライン到達がこの秒数続いたら全決済
裁量	SignStopsOn/OrangeTrailOn	false/false	サイン SL/橙 SL 追従 (6-4、6-5)
裁量	SignMinSIUsd	1.5	橙点線までの距離がこれ未満なら通常の幅に戻す
半自動	SemiRiskPercent/SemiRiskStep/Min/Max	1.0/0.5/0.1/10	半自動リスク%の初期値と刻み
半自動	SemiSkipBars	25	直前の M15 トレンドがこの本数以上なら見送り (0=見送らない)
半自動	SemiH1Filter	true	H1 と同じ向きのサインだけ
半自動	SemiMaxSpreadUsd	0.40	スプレッド上限 (USD/oz)
半自動	SemiStopAfterLoss	true	1回負けたら停止
半自動	SemiFallbackAtrMult	3.0	橙点線が置けないときの保険 SL (ATR×)
半自動	SemiAlert	true	エントリー・決済・停止で Alert
安全	LosscutPercent	10.0	この EA の含み損 (裁量+半自動) が残高のこの% で全決済
安全	EquityGuardPercent	0.0	有効証拠金が残高のこの% を下回ったら全決済 (0=無効)
安全	ManageDefaultOn	false	裁量の線の EA 側執行をこの端末が担当するか (ブローカー SL/TP は常に同期)
統計	ShowStats/StatsSignals	true/200	統計ブロックの表示と集計回数
表示	ShowM15Lines/ShowM15LineNotes	true/true	M15 の線と注記

区分	名称	既定	説明
表示	ShowMt5TradeLevels	false	MT5 標準の建値・SL・TP 表示（半自動の SL を見るなら true）
指標	NewsWarnOn／NewsCurrencies	true／USD	重要指標の警告と対象通貨

第9章 安全機能と注意事項

9-1. 安全機能

- 残高比ロスカット：この EA の建玉（裁量＋半自動）の含み損が残高の一定割合（既定 10%）に達すると全決済。
- 有効証拠金ガード：口座全体の有効証拠金が残高の一定割合を下回ると全決済（既定 OFF）。
- 気配の鮮度と価格凍結の確認：直近ティックが古い、または価格の乖離が大きいときは発注しない（裁量・半自動とも）。
- 裁量の二重構え：ブローカー側の SL/TP（回線断の保険）と EA の監視（一括執行）の両方で守る。
- 半自動の1敗停止：負けたら自動で止まる。損失の上限は「残高×半自動リスク%」。

9-2. 注意事項

- ALL CLOSE・P/L・実績は、この銘柄で Magic が一致する建玉だけが対象です（裁量 20261005、半自動 20261006）。MT5 から手動で建てた建玉や他の EA の建玉は決済されません。
- 版を差し替える前に、旧版の建玉はすべて閉じてください。Ver1.05 は Ver1.03/1.04 と Magic が同じなので裁量建玉は引き継げますが、パネルの設定（裁量 ON など）は一部初期化されます。
- 状態の計算は確定足だけを使います。M15 の方向が変わるのは 15 分ごとの足確定時です。
- 統計の「本日」は日本時間 0 時起点です。MT5 のサーバー日とは違います。
- 注文コメントに「PWTSC」と表示されますが、前身のツールとの互換性のために残しているものです。動作に影響はありません。
- 設定（UI 倍率、Risk%、半自動の状態・リスク%、最後の結果）は端末ごとに記憶され、再起動後も維持されます。
- Hanasaka Auto EA と同じ口座で半自動を同時に動かすと、リスクが合算されます。どちらか一方にしてください。

第10章 困ったとき

症状	確認すること
インジを入れても何も表示されず「この口座番号は認証されていません」と出る	口座番号が未登録です。公式 LINE から口座番号をお知らせください。登録済みなら、ファイルが最新版か確認してください
EA が起動せず「口座認証エラー」がログに出る	同上
「ヘッジ口座専用です」で停止する	ネッティング口座です。提携口座のヘッジ口座（両建て可）で使ってください
パネルが出ない	ツールバーの「アルゴリズム取引」が ON か、EA のプロパティで「アルゴリズム取引を許可」にチェックが入っているか確認
パネルの文字が小さい／重なる	③ UI + で拡大。② 時計をタップすると初期値に戻ります
指標バーに「★★★ 取得不可」	MT5 の「ツール→オプション→サーバー」で「ニュースを有効にする」を ON にし、口座が接続中か確認
ALL CLOSE を押しても決済されない	手動や他 EA の建玉、旧版の建玉は対象外です。取引タブから決済してください
セント口座で損益の数字が100 倍に見える	通常版（Hanasaka EA）を使っています。D_Sent_Hanasaka_EA に替えてください
セント口座で矢印が足から大きく離れている	通常版（Hanasaka indi）を使っています。D_Sent_Hanasaka_indi に替えてください
ロットが Risk% より大きい	計算したロットが最小ロット未満だったため、最小ロットに切り上がっています。起動ログで確認できます。残高を増やすか、Risk% を見直してください
インジの矢印と半自動の建玉が合わない	仕様です。半自動は「直前トレンド長方式・25 本・H1 の向きで絞る」条件、インジの既定は「基準方向方式」。同じサインを見たいときは Hanasaka Auto Indi を M15 チャートに載せるか、Hanasaka indi を「直前トレンドが短いときだけ表示・25 本」にする
半自動を押しても建たない	待機中はサインが出るまで建ちません（⑩ が「待機中」なら正常）。裁量の建玉があると開始できません。ログに「見送り」の理由（直前トレンド・H1 不一致・スプレッド）が出ます
BUY／SELL を押しても建たない	半自動が待機中・保有中です。⑮ で半自動を OFF にしてから押してください
半自動の SL 幅が10% より大きい／小さい	半自動の SL は橙点線で、幅は相場で変わります。ロットの方を「損失＝残高×%」になるよう逆算しています。最小ロットで足りないときはログに実際の%が出ます

第11章 リスクについて・免責

- FX・CFD 取引は、預けた資金を上回る損失が生じるおそれのある、リスクの高い取引です。余裕資金で、ご自身の判断と責任で行ってください。
- 本ツールは裁量取引の補助を目的としており、利益を保証するものではありません。過去の検証結果や仮想成績は将来の成績を示すものではありません。
- 本マニュアルに記載の数値（スプレッド、ドローダウン、ロットの目安）は作成時点の実測・試算であり、相場や口座の条件により変わります。
- ツールの利用・改変・再配布は、教室の受講者本人に限ります。第三者への再配布はご遠慮ください。
- 本教室は提携口座を通じて提供者が報酬を受け取ることがあります（PR）。口座開設は任意であり、受講の条件ではありません。

発行：EA Designer Kuu / 花咲か爺さん FX トレード教室

第2部 自動売買のための Hanasaka Auto EA と Hanasaka Auto Indi

第12章 Hanasaka Auto とは

12-1. 位置づけ

Hanasaka Auto EA は、第1部の手法（M15 の反転を H1 の向きで絞り、橙点線に追従して伸ばす）を、人の操作なしで回す自動売買 EA です。Hanasaka EA の半自動と同じサイン・同じ決済ですが、押したときだけではなく常に待機し、負けても止まらず、反転のたびに建て直します。

項目	Hanasaka EA の半自動（第1部）	Hanasaka Auto EA
待機	ボタンを押したときだけ	常時（AutoTradeOn=true）
負けたあと	停止（再び押すまで建てない）	止まらず次のサインで建てる
ロット	損失＝残高×半自動リスク%から逆算	複利（残高÷基準残高×0.01×倍率）または固定
パネル	裁量パネルの一部	専用パネル（自動売買の成績と状態）
Magic	20261006	20260926
向いている人	自分でタイミングを決めたい人	完全に放置したい人

- 売買の条件（M15 反転、見送り 25 本、H1 一致、スプレッド上限 \ \$0.40、橙点線への SL 追従、反転決済と建て直し、保険 $SL = ATR \times 3$ ）は両方で同一です。詳しい対応は第1部 6-8 を参照してください。

12-2. 配布と現在の状態

- Hanasaka Auto EA Ver1.01（M15×H1）は、Exness Standard のデモ口座でフォワードテストの途中です（判定は 2027 年 4 月、第 16 章）。判定前の配布と運用は、その点を理解したうえでお願いします。
- 口座認証は第1部のツールと別の名簿です。登録は公式 LINE から口座番号をお知らせください。

12-3. 2つのファイル

ファイル	役割
Ver1.01 Hanasaka Auto EA.ex5	自動売買の本体。インジケータを参照せず、自分で M15・H1 を計算して売買する
Ver1.01 Hanasaka Auto Indi.ex5	目視用のインジケータ。EA が建てるサインだけを矢印で出す（H1 の向きフィルター付き）。売買には関係なく、無くても EA は動く

第13章 Hanasaka Auto EA の売買ロジック

13-1. サインの計算 (M15)

- ラチェット型トレンドライン：直近 5 本 (LineWindow) の安値 (上昇中) または高値 (下降中) を片方向にだけ更新します。
- 反転の判定：M15 の終値がトレンドラインを越え、かつ直近 20 本 (BreakoutWindow) の終値の極値を越えたとき、トレンドが反転したと判定します。第1部の Hanasaka indi と同じ計算です。
- 反転水準 (橙点線)：次の足の終値がこれを越えると反転する水準。上昇中は「直近 20 本の終値の安値」と「トレンドライン」の低い方、下降中はその逆です。
- 計算は M15 の確定足だけを使います。チャートの時間足は関係ありません (M15 以外のチャートに載せると注意のログが出ますが、売買は M15 で行います)。

13-2. エントリー

M15 が反転した足の確定時に、次の条件をすべて満たすと、反転した方向へ成行で1本建てます。

条件	内容	入力
見送り	直前の M15 トrendが 25 本以上続いていた反転は見送る (長いトレンドの終わりの反転はだまが多い)	PrevTrendMaxBars=25
上位足	確定済みの最新 H1 のトレンド (同じ計算) が反転と同じ向き	UseH1DirFilter=true
スプレッド	\$0.40 以下	MaxSpreadUsd=0.40
ADX	使わない (Ver1.01 で OFF。M15×H1 では ADX を外した方が総損益が大きい)	UseAdxFilter=false
方向	買い・売りの両方 (片方だけに制限可)	TradeDirection=両方
建玉	既に建玉があれば建てない (単ポジション)	—
気配	直近ティックが古い、または価格乖離が大きいときは建てない	MaxQuoteAgeMs、PriceSanityMaxGap

- 反対の建玉を持っているときに反転サインが出ると、まず反対建玉を成行で決済し、決済の完了後に (見送り条件に当たらなければ) 新しい方向で建てます。

13-3. 決済と SL の管理

項目	内容
初期 SL	橙点線 (M15 反転水準)。現在価格から \$0.20 以内など置けないときは、建値±ATR(M15)×3 の保険 SL
追随	M15 の確定ごとに、橙点線が有利な位置にあれば SL をそこへ移動 (不利な方向には動かさない)
TP	置かない。利益は追随する SL と反転決済で確定する
反転決済	M15 が反転したら成行で決済 (SL が未執行だった場合の受け皿)
固定 SL	入力 SIAtrMult を 0 以外にすると、建値±ATR×この値と橙点線の近い方を初期 SL にする (既定 0=使わない)

13-4. ロット

方式	計算	入力
複利 (既	0.01 ロット × (残高 ÷ 基準残高) × リスク倍率。基準残高 30	LotMode=複利、BaseBalance=

方式	計算	入力
定)	万円・倍率 1.0 なら、残高 30 万円で 0.01 ロット、60 万円で 0.02 ロット	300000、RiskMult=1.0
固定	常に同じロット	LotMode=固定、FixedLot=0.01
上限	1.0 ロット	MaxLot

※ 半自動（第1部）の「損失＝残高×%」方式とは違い、Auto は1トレードの損失額が SL 幅（橙点線までの距離）で変わります。初期 SL 幅は平均で約 ¥10/oz、広いときは ¥25 を超えます。0.01 ロット（1 oz）・1ドル 150 円で、1トレードの損失は約 1,500～4,000 円が目安です。残高に対する割合は第 16 章の資金の目安を参照してください。

13-5. 検証結果（根拠）

2019 年 1 月～2026 年 9 月の Exness M1 データ（Standard の実測スプレッド）で、同じ条件を機械的に売買した試算です。

項目	値
回数	1,785 回（年約 230 回）
総損益	+\$2,756/oz（0.01 ロットで約 41 万円相当）
PF	1.40
勝率	34%
平均の勝ち／負け	勝ちが負けの約 2.8 倍。最大の勝ち足は +30R
赤字の年	1 年（2022 年 -\$41）。2019 年・2023 年もほぼゼロ
利益の分布	2025～2026 年の金の上昇相場に集中（総損益の約 85%）。2022 年 1 月～2023 年 7 月（横ばい～下落）は 355 回で -\$115
買い／売り	買い 979 回 +\$1,781（PF1.51）／売り 806 回 +\$975（PF1.28）。2026 年 1～9 月は売りが 89 回 +\$1,020（PF2.01）と買いを上回り、金が月間 -11～12% だった 3 月・6 月も売りでプラス。2025 年の売りは -\$107

- 複利でリスクを残高の r% にした場合の最大ドローダウン：1%→35%、2%→60%、5%→95%。
- 7 年すべてのデータで条件（M15、見送り 25 本、H1 一致、スプレッド上限）を選んだ数字です。独立した確認はフォワードテストだけで、判定は 2027 年 4 月です（第 16 章）。
- 2019 年 1 月～2026 年 9 月を通して計算しています（2021 年 12 月～2023 年 8 月は実口座の端末から書き出した履歴で補いました）。

第14章 導入と Auto パネルの見方

14-1. 導入手順

1. 「Experts」フォルダーに Ver1.01 Hanasaka Auto EA.ex5 を、「Indicators」フォルダーに Ver1.01 Hanasaka Auto Indi.ex5 を入れ、MT5 を再起動します。
2. XAUUSD（Exness Standard は XAUUSDm）の **M15 チャート**を開き、インジ、EA の順にドラッグ & ドロップします。「アルゴリズム取引を許可」にチェック。
3. ツールバーの「アルゴリズム取引」を ON にします。パネルが出て、見出しに「Hanasaka Auto EA・M15×H1 v1.01」と表示されれば起動しています。
4. 起動ログで「Magic=20260926」「ロット=複利（基準 300000×1.0）」を確認します。
5. 入力 AutoTradeOn が true であることを確認します（false は監視のみ。既存建玉の管理は続きます）。

※ 1つの口座で動かす端末は1台だけにしてください。複数の端末で同時に動かすと、同じサインで二重に建ちます。VPS での常時稼働を推奨します。

14-2. Auto パネル

行	表示	意味
見出し	Hanasaka Auto EA・M15×H1 v1.01 [-] [+]	版番と UI 倍率
状態	M15（エントリー）／H1（方向）／判定	M15 と H1 のトレンド方向（▲UP／▼DOWN）と、現在の判定（買いのみ／売りのみ／見送り）
フィルター	ADX(H4)／スプレッド／ロット	現在の値。ADX は Ver1.01 では参考表示
水準	M15 反転（橙）／M15 太線	現在値から反転水準・トレンドラインまでの距離（\$ と ATR 倍）
建玉	建玉 なし／買い 0.01 @価格／SL／含み (JPY)	本 EA の建玉と SL、含み損益
実績見出し	本 EA 実績 (JPY) 全期間 ○回 勝率 PF	Magic 20260926 で建てた取引の集計（別経路で閉じてても本 EA の成績に入る）
本日／今週 ／今月	回数・勝率・損益（日本時間）	
指標	PF／RF（純益÷MaxDD）／MaxDD（円と残高比）	
指標	総損益／平均 勝ち・負け／最大連敗	
CLOSE	CLOSE 本 EA の建玉のみ (20260926)	本 EA の建玉を手動で全決済

- 集計は入力 StatsSinceDays（既定 0＝端末に読み込まれた全履歴）の範囲で、60 秒ごとと建玉数が変わったときに更新します。
- チャートには M15 の太線（マゼンタ／ブルー）と反転水準（橙点線）を描きます（ShowLines=true、確定足 240 本分）。インジと同じ色・位置です。

第15章 Auto EA のパラメーター

区分	名称	既定	説明
識別	MagicNumber	20260926	変更しないでください。Hanasaka EA (20261005 / 20261006) とは別
サイン	UseH1DirFilter	true	H1 と同じ向きだけ建てる
サイン	PrevTrendMaxBars	25	直前トレンドがこの本数以上なら反転を見送る (0=無効)
サイン	AutoTradeOn	true	false=監視のみ
サイン	BreakoutWindow / LineWindow	20 / 5	反転判定とトレンドラインの窓
サイン	HistoryBars / AtrPeriod	600 / 14	状態の再計算に使う本数、ATR 期間
フィルター	UseAdxFilter / AdxPeriod / AdxMin	false / 14 / 20	H4 ADX (Ver1.01 で OFF)
フィルター	TradeDirection	両方	買いのみ / 売りのみに制限できる
フィルター	MaxSpreadUsd	0.40	スプレッド上限
決済	SIatrMult	0	固定 SL (ATR×。0=橙点線のみ)
決済	ExitOnOppositeSign	true	反転で成行決済
決済	InsuranceOn / InsuranceAtrMult	true / 3.0	橙点線が置けないときの保険 SL
決済	StopBufferUsd	0.20	現在価格からこの距離以内の SL は送らない
ロット	LotMode	複利	複利 / 固定
ロット	BaseBalance / RiskMult	300000 / 1.0	複利の基準残高 (口座通貨) と倍率
ロット	FixedLot / MaxLot	0.01 / 1.0	固定ロットと上限
安全	LosscutPercent	0 (無効)	残高比ロスカット。使うなら 10 程度
安全	MaxQuoteAgeMs / PriceSanityMaxGap	3000 / 8.0	気配の鮮度と価格乖離の確認
安全	Slippage / CloseRetrySec	30 / 60	許容スリッページと決済再送
表示	TestPanelOn / ShowLines / LineBars	true / true / 240	パネルと線
表示	StatsSinceDays / VerboseLog	0 / false	集計範囲と詳細ログ

* 既定値はすべて 7 年の検証で決めた値です。PrevTrendMaxBars、UseH1DirFilter、MaxSpreadUsd を変えると検証した構成ではなくなります。

第16章 Hanasaka Auto Indi と運用上の注意

16-1. Hanasaka Auto Indi

- Hanasaka Auto EA が建てるサインだけを矢印（赤＝買い、水色＝売り）と◆で表示する、目視用のインジケーターです。M15 チャートで使います。
- 第1部の Hanasaka indi との違いは、サインの選び方です。Hanasaka indi の既定は「基準方向方式」（基準トレンドと同じ向きだけ）、Auto Indi は「直前トレンド長方式」（直前のトレンドが25本以上続いた反転を消す）に「上位足 H1 の向き」を重ねたもので、EA と同じ条件です。
- 線（マゼンタ／ブルーの太線、橙点線、TP1／TP2、エントリー水準）の描き方は Hanasaka indi と同じです。
- 主な入力：SignHideMinTrendBars（既定 25。EA の PrevTrendMaxBars と合わせる）、UseHtfDirFilter（既定 true）、HtfPeriod（既定 H1）。チャートの時間足が上位足以上のときはフィルターを使いません。
- EA はこのインジを参照しません。インジを外しても売買は変わりません。

16-2. 資金の目安

残高	ロット（複利既定）	1トレードの損失の目安（SL 幅 \$10～25、1ドル 150 円）	残高比
10 万円	0.01（最小）	1,500～3,750 円	1.5～3.8%
30 万円	0.01	同上	0.5～1.3%
60 万円	0.02	3,000～7,500 円	0.5～1.3%

- 残高 30 万円未満では最小ロット 0.01 になり、残高が小さいほど1トレードのリスク比率が上がります。10 万円なら BaseBalance を 100000 にせず、既定のまま 0.01 ロットで様子を見ることを推奨します。
- 7 年 9 か月の試算の最大ドローダウンは、リスク 1% で約 35%、2% で約 60% です。連敗は最大で 17 回あります。

16-3. フォワードテスト（判定前）

- Exness Standard のデモ口座で Ver1.01 を稼働中。判定期間は稼働開始～2027 年 3 月 31 日、判定は 2027 年 4 月初めに 1 回だけ行います。
- 判定基準：実約定の合計損益がプラス、実スプレッドの試算がプラス、実約定と試算の一致率 95% 以上。
- 合格なら教室での配布を正式に決めます。不合格なら配布しません。判定前に使う場合は、デモ口座が少額で、ご自身の判断でお願いします。

16-4. 注意事項

- 1つの口座で1台だけ動かしてください。Hanasaka EA の半自動と同じ口座で同時に動かすと、リスクが合算されます。
- 旧 PTSC Auto（M6H1 Test など）と同じ口座で同時に動かさないでください（Magic が同じため二重管理になります）。
- 版を差し替える前に建玉を閉じてください。
- 週末・指標発表時も止まりません。重要指標の前に止めたい場合は AutoTradeOn を false にするか、EA を外してください（建玉は残ります）。
- CLOSE ボタンは本 EA の建玉だけを閉じます。ALL CLOSE はありません。

16-5. 困ったとき

症状	確認すること
「口座認証エラー」で止まる	口座番号が未登録です。公式 LINE から口座番号をお知らせください（第1部のツールとは別の名簿）
「ヘッジ口座専用です」で止まる	ネットイング口座です。提携口座のヘッジ口座で使ってください
サインが出たのに建たない	ログの「エントリー見送り」の理由（H1方向フィルター／スプレッド／直前トレンド）を確認。AutoTradeOn が false になっていないか
インジの矢印と EA の建玉が合わない	インジの SignHideMinTrendBars（25）と EA の PrevTrendMaxBars（25）、UseHtfDirFilter と UseH1DirFilter が同じ設定か確認
チャートに線が出ない	ShowLines=true か確認。週末は足が更新されるまで描かれないことがあります
実績の数字が口座の履歴と合わない	本 EA（Magic 20260926）で建てた取引だけを集計しています。StatsSinceDays で範囲を変えられます

第17章 リスクについて・免責（第2部）

- 自動売買は、相場の急変やサーバー・回線の障害により、想定外の損失が生じることがあります。VPS の稼働状況と口座の状態を定期的に確認してください。
- 本 EA の検証結果は過去データの試算であり、将来の成績を示すものではありません。利益は特定の相場期間に集中しており、長く横ばいの期間もあります。
- 本ツールは教室の受講者向けに提携口座の特典として無償で提供するものです。利用・改変・再配布は受講者本人に限ります。
- 本教室は提携口座を通じて提供者が報酬を受け取ることがあります（PR）。口座開設は任意であり、受講の条件ではありません。

発行：EA Designer Kuu / 花咲か爺さん FX トレード教室